

委員会活動報告書

委員長名 村嶋 幸代

【委員会名】 教育評価準備委員会	
【メンバー】 ◎村嶋 幸代(大分県立看護科学大学)、○ 神崎 由紀(山梨大学) 荒木田 美香子(川崎市立看護大学)、麻原きよみ(聖路加国際大学)、 西出りつ子(名古屋学芸大学)、小野治子(大分県立看護科学大学)、 ¥矢島 正榮(群馬パース大学)、中山 直子(神奈川県立保健福祉大学) オブザーバー 岩本 里織(神戸市看護大学)	
【活動方針】 1. 保健師教育の評価に向けて、そのあり方や方法、内容を検討する。 2. 保健師教育の評価の実施に向けて会員校の意向を調査し、合意を得る道筋をつける。	
2023(令和5)年度	
達成目標	1. 令和4年度に実施した会員校の意向調査の結果を踏まえ、理事会として意思決定するための準備を行う。 2. 意思決定に向けて、全保教が行う保健師教育の評価の意義を更に明確にし、評価の実施方法や項目なども検討する。 3. 可能であれば評価を試行し、必要な準備について具体的に検討する。
活動報告	1. 委員会をオンラインにて5回実施した。 2. 委員会内で体制WGと評価項目WGの2つに分かれて、それぞれ評価の実施に向けて検討した。 【体制WG】 ①全保教単独で教育評価を進める方向性と、評価機構を別で設立する方向性を検討した。②評価の運営に関する経費のシミュレーションも含めて実施可能性について検討した。③会員校意向調査より、受審費用を15万円で検討したが、1校当たりの受審料をどの程度に設定すれば、評価組織を運営できる可能性があるのかのシミュレーションも実施した。④評価者の育成については今後検討する必要がある。 【評価項目WG】 ①助産師教育の評価やJABNEの評価指標も参考に検討したが、評価のやりやすさを考慮し、教育体制委員会で作成した基準をベースに評価項目を検討した。②教育体制委員会での基準は自己評価となるが、保健師教育の質評価の観点で第三者評価となるように評価の選択肢ごとに、評価の規準とそのエビデンスの内容を検討した。